

お金の使い方学ぶ

稚内信金の中央小5年生対象に

稚内信用金庫(増田雅俊理事長)は13日、中央小学校で金銭教育を行い、同校5年生約50人がお小遣いの使い方などを勉強した。

講師は、札幌のCFPファイナンシャルプランナーの金融広報アドバイザーの横井規子氏。「カレンダーこづかいゲーム」を行いながら、楽しく授業を進めた。

同ゲームは、「自分で考えて買い物をする」

と「こづかい帳を1人で書けるようになる」の2つを目標にする。児童らに欲しい物を3つ挙げてもらい、自分で値段を設定。

ジャンケンに勝つと欲しい物を半額で買えたり、負けたら他の物を衝動買いしてしまったりと予想外の出費も想定。児童達も「もうこれだけ!」などと声を上げ、ジャンケンの勝敗で周りとの残高の差が開き、計画通りに

はいかないよう。

横井氏は「先の事を考えて、お金を使ってほしい」と、先を見据えたお金の使い方を見導。無駄遣いを減らしていくこととしっかり認識した。(川村竜也)



稚内信金の金銭教育